

グッドプラクティス事例集の策定・公表

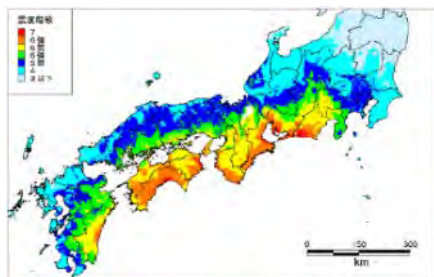
国内外の衛星データ利用の先進事例を収集・公表



- SIP第2期において、**発災直後**に、**世界各国の衛星**を用いて、災害対策本部が**広域的な被害状況を迅速に把握**することができる仕組みを研究開発

現状

- 発生直後**における被害状況の俯瞰的把握が困難
- 政府災害対策本部が**効果的に動けない**



南海トラフ巨大地震では
広域に被害が出る恐れ

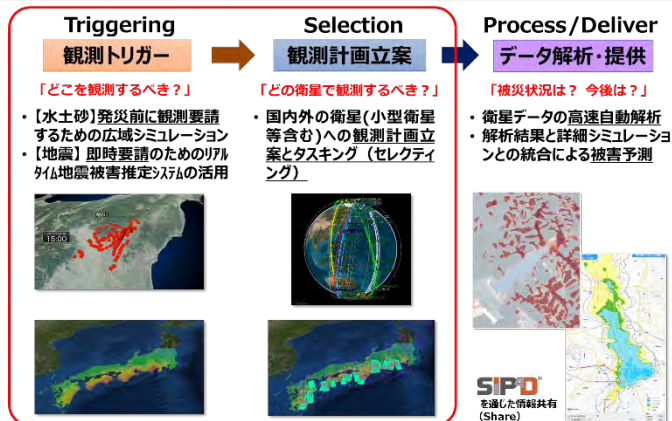


政府 災害対策本部

最終目標(研究開発)

- 国内外の多数の衛星を活用した**被災状況把握の自動化**
- リアルタイム**で広域被害状況を把握可能に

予測シミュレーションをトリガリング情報として利用し、世界各国の衛星を用いてベストエフォートで**発災後2時間以内**の「観測→解析→提供」の自動化を実現し、早期の初期対応を実現



最終目標(社会実装)

災害対策本部が
発災後2時間※で**広域的な被害状況を把握**し、
最適・迅速な初動対応が可能となる

※SIP終了後の、連携する衛星の更なる確保の取組を踏まえた目標として設定

内閣府（科学技術政策）における ワンストップシステムのプロトタイプ構築、実証開始

■ 令和2年度にプロトタイプシステムを構築。府省庁との利用実証を開始。

